

## 声 明

文京区は、世界の恒久平和と永遠の繁栄を願い、昭和 54 年 12 月に「文京区平和宣言」を行うとともに、昭和 58 年 7 月には「文京区非核平和都市宣言」を行い、核兵器の廃絶と軍縮を全世界に訴えています。

本年 2 月、アメリカ合衆国とイスラエル国、イラン・イスラム共和国の間で武力紛争が勃発し、これまでの間、武力衝突の継続により多くの市民の尊い命が奪われ、生活基盤が破壊されました。また、ホルムズ海峡における封鎖行為は、世界経済やエネルギー供給にも重大な影響を及ぼす恐れがあります。

これらの行為は世界全体の平和と秩序、安全を脅かすものであり、いかなる理由があっても正当化されるものではありません。私たち文京区民を始め全世界の人々の恒久平和の願いに反するもので、誠に遺憾であります。さらなる武力紛争の拡大は、なんとしても避けなければなりません。

ここに、私は、平和宣言及び非核平和都市宣言を掲げる首長として、アメリカ合衆国とイスラエル国及びイラン・イスラム共和国に対して、対話と外交による平和的解決を行うよう強く求めます。

令和 8 年 4 月 10 日

文京区長 成 澤 廣 修